

二宮町町民活動推進委員会 第9回議事録

日 時：平成28年2月5日（金） 14：00～16：00

場 所：二宮町 第一会議室

出席者：手塚委員長・大河原副委員長、澁澤委員・菅澤委員・松本委員・山口委員
・筑紫委員

欠席者：山岡委員・吉見委員

事務局：西山課長・二宮班長・鳥海主任主事

傍聴者：0名

配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 二宮町町民活動推進委員会答申書（案）
- ・ 第8回会町民活動推進委員会議事録
- ・ 二宮町町民活動推進補助金交付要綱の一部を改正する要綱新旧対照表（案）
- ・ 平成28年度町民活動推進補助金募集のお知らせ

1. 開会（西山課長より）

2. 委員長あいさつ

3. 議題

◆事務局より確認事項

- ・ 会議は原則公開とさせていただきます。
- ・ 会議の議事録のまとめ方と公開について、昨年度と同様に要点筆記にてホームページで公開させていただきます。
- ・ 今回の議事録署名人は手塚委員長と松本委員にお願いいたします。
- ・ 二宮町町民参加活動推進条例施行規則第7条第1項に基づきまして、委員長が議長となることとなっておりますので、議事進行を手塚委員長によろしくお願いいたします。

（委員長）はじめに会議の公開についてですが、本日の審議内容については公開して問題のあるものではないと思われま。傍聴人の方はいらっしゃいますか。

（事務局）本日の傍聴希望者は、おりません。

（委員長）それでは、議題に入りたいと思います。

1番の「はじめに」についてですが、修正訂正は無かったのですが、このまま決定してもよろしいでしょうか。

（委員）特にありません。

- (委員長) 2番の「諮問内容について」は諮問内容なので特に問題ありません。
- 3番の「答申に向けた論議の内容」ということで、ここから「ですます調」にするのか「である調」にするのか、個人的な意見ですが、中身は「である調」で、「はじめに」「おわりに」には「ですます調」がいいと思っていたのですが、皆さんが修正した物は「ですます調」で戻ってきましたので、そのあたりのご意見はいかがでしょうか。
- (委員) 「はじめに」と「おわりに」に合わせた方が分かりやすいと思いました。
- ただ、答申なので「である調」でもいいと思いました。
- (委員長) 答申書の中で「思います。」「考えます。」という言葉が多く使われているので整理をした方がいいと思いました。
- 事実は事実として伝え、こういう方向で私達は進めますと、ちょっと強めの言葉にした方がいいと思っています。
- 諮問1の(2)推進方法についての所に枠で囲ってある文章がありますが。
- (事務局) こちらの方は、事前に委員の方から修正案をいただき、修正をおこなったのですが、枠にある文章の内容は方向性が同じなのですが、言葉が変わっているので、事務局で変更してしまうと問題があると思いましたので、枠で記載して委員の皆様にとどちらがいいのか判断していただこうと思いました。
- 本日欠席の委員さんから事前に連絡をいただき、分かりやすいので枠の中の方がいいですとの事でした。
- (委員長) 諮問1(1)基本的な考え方について、3段目の「また」の後ろは、調査が違うので調査名を2つ入れたのですが書かれていません。上は「社会貢献に関する実態調査」で、下は違う調査なので、並べてしまうと同一調査だと思われてしまいます。調査名を出しておいた方がいいです。
- (委員) 「また」の所に「何々の調査名によれば」と入れるといいですね。
- (委員長) ここ2・3年で、一時6・7%までいったのですが、今は6・2～3%に落ちているので、あまり増えていきますとは言い切れない所があります。
- ここでは、2つの調査内容を入れているので、キャプチャーなどを付けた方が分かりやすい。
- (委員長) 「参加の手続きの不明瞭さ」(24.1%)などが挙げられます。」は、結果として私達が受け止める物なので、「挙げられています。」です。
- 「支援策の方向性を見て取る事が出来ました。」は、「できます。」です。
- (委員) 2つの調査があってボランティア、国・地方自治体への要望については最初の調査名の方なのででしょうか。
- (委員長) はい。
- 間に違う調査の事が入っているので、まとめた方がいいですね。
- 事務局で調べた平成26年度の「特定非営利活動法人及び市民の社会貢献に関する実態調査」は、今回の答申内容に向いています。ただし、新たに始めた調査なので、過

去のデータが無く、「社会意識に関する世論調査」は長年おこなわれており、多くの設問の中で一問だけ社会貢献の調査があります。

(委員) それですと、「また、社会貢献活動への関心」の所が別の調査なのですか。

(委員長) そうです。

(委員) それでは、前か後ろにもっていった方がいいですね。

(委員) 前にもっていった方がいいですね。

(委員長) そうですね。

(委員) 二宮町第5次二宮町総合計画中期基本計画(素案)となっている。

先の二宮町は違います。

(事務局) 第5次二宮町総合計画中期基本計画(素案)に訂正します。

(委員長) 「平成27年に」の所で、調査は何月に実施しましたか。

(事務局) 6・7月でおこないました。

(委員長) それでは、「平成27年」の後ろに6月を入れましょう。

「沢山のご意見を」は少しおかしいので。「様々なご意見を」にしましょう。

「すでに活動している団体はさらに継続発展」

(委員) 「さらに」はいらないですね。

(委員長) 「継続発展ができるような」できるようなはおかしいですね。「継続発展にむけた」でどうでしょうか。

(委員) いいです。

(委員長) 「多くの町民が町民活動に関わるためには、プラットホームのような機能があることが望ましく、」「多くの」をやめて「町民は」にしましょう。

(委員) 調査の中でプラットホームという言葉は出てきていましたか。

(委員長) 調査の中ではなく議論の中で出てきました。ただし、望む声はありました。

団体に調査をしているので、団体が思っている事が書いてあります。団体としてもあ
あいう場所がある方が、町民を巻き込む拠点になるという意見があったと思います。

(委員) 調査イコールプラットホームではなかったような気がして、おかしいかと思いました。

こういう場所はとても大切だという意見はありました。

(委員長) 調査の中で、何で必要と言っていますか。

(委員) いつもこの場所を使っております。この場所は私達にとって欠かせません。とか、マ
ッチング機能があればいいとかです。

(委員長) 町民が、という言葉はアンケートの中のでできていないのですね。その次の交流の機
会や相談機能は出てきていますね。

「必要としていることや、」その後ろは「交流の機会や、」までを削除でどうでしょ
うか。

(委員) そのほうがスッキリしますね。

(委員長) その次の「このように、個人においては」は個人がつながってこなくなる。ここは、

団体が町民活動を続けたいといっているので、個人というよりは、活動している人たちは、ますます意識は高まっているという意味だと思います。単純に「町民活動への意識はより高まっており」でもいいかもしれません。変に頭をつけるから、ややこしいです。

(委員) そうですね。こだわる事はないですね。

(委員長) 「行政においても町民活動を推進したいとの意向があり、その重要性は、これまで以上に高まっていることが伺えます。」とするとスッキリしますね。

「二宮町町民参加活動推進条例などを活用して、」「など」と書いてありますが、条例以外に何かありますか。

(事務局) 中期基本計画の中にも出てきていますが、具体的に使用しているのは二宮町町民参加活動推進条例です。

(委員) 総合計画の事が入っていると思っていました。

(委員) 条例だけでしたら、「など」はいらないですね。

(委員長) 「など」はいらないです。

(委員) 中期基本計画の事もイメージさせたいということなののでしょうか。

(委員長) たぶんそうだと思います。

(事務局) その中でも主体となるのは二宮町町民参加活動推進条例です。

(委員) それなら「など」はいらないです。

(委員長) 「二宮町町民参加活動推進条例を活用し、」で、よろしいでしょうか。

次の(2)推進方法についてです。

(委員) 最後の、「必要と考えます。」ではなく「必要です。」でどうですか。

(委員長) いいですね。

最初の「先行して活動している」はいらないです。先行していない所もありますし。

(委員) これから参加する所もあるので、先行はいらないですね。

(委員長) 「これまでは、」の「は」もいらないですね。

(委員) 「先行」という文字は、後ろの「長期的・継続的な活動のために」にかかっているもので「先行」はいらないですね。「これまで、町民活動団体には、」でいいと思います。

(委員長) 「長期的・継続的な活動のために」という言葉が気になります。もう少し丁寧に「長期的・継続的な活動を進めるために」でどうでしょうか。

そうしますと、「これまで」と「今後は」は離れてしまいますので、「活動している町民活動団体には、これまで」をここに入れて「今後は」からつなげて、「必要となります。」は「必要です。」でどうでしょうか。先ほどより読みやすくなったと思います。

(委員) そうですね。

(委員) 「もらえるように働きかけ」の「に」もいらないですね。

(委員長) そうですね。

関節語が多いです。

- (委員)「長期的・継続的な活動を進める」は「事業の推進」で推進と言っているのですが、言葉をそろえた方がいいのではないのでしょうか。
- (委員長)「事業の推進」で推進を使っているので「進める」にしてみました。同じような意味なのですが、進めるにした方が広い意味で捉えることができます。
- (委員)そうですね。
- (委員長)①町民の参加意欲向上です。
- (委員)センテンスが長いです。
- (委員長)文章の切れる場所ですが、1行目しか切れないですね。それ以外は同じことを言っています。ここで言いたい事は、活動している団体は動いているから継続発展して欲しい。2つ目に、関心のなかった町民に対して、参加したら楽しいので、自分達のためにもなると言うことを分かって欲しいと書いてあります。
- (委員)「町民活動は単に町のための活動であるというだけでなく、」はいらないと思います。
- (委員)「町民活動に感心のなかった町民に対しては、協働によるまちづくりに多くの町民が参加することで、自分たちの暮らしが豊かになるという理解を促し」でどうでしょうか。
- (委員長)「積極的に町民活動に参加できるような」の「ような」もいららないかな。
- (委員)「提供をはかっていくことが求められます。」は「必要です。」でどうでしょうか。
- (委員)「組織基盤の整備への支援」の間の「の」はいらないと思います。
- (委員長)そうですね。読みにくいです。「組織基盤整備への支援」ですね。
- (委員)町民の参加意欲向上というタイトルで、上の導入部分と下の「関心のなかった町民に対しては、」はつながりますが、「すでに活動している団体は、さらに継続発展できるよう、」というのが参加意欲向上とつながらないと思います。
- (委員長)「すでに活動している団体は、さらに継続発展できるよう、」一行しかないのですが、これはすでに活動している団体に、協力をするとか、参加するとか、という意味が下に書いてあります。
- (委員)「すでに活動している団体は、さらに継続発展できるよう、」はいらないと思います。町民の参加意欲向上の所なので、団体のことはいららないです。
- (委員長)団体のことは、ここではいららないですね。
- (委員)団体のことは、「町民活動団体実態調査結果」で確認できたと書いてあるので、これまで町民活動に関心がなかった町民に対してはということでしょうか。
- (委員)今までは町民活動団体と町民に対してはこういうふうにしていくと、さらに今活動している団体も継続発展できるような体制を唱え、最後にもっていくのはどうでしょうか。
- (委員)それはいいですね。
参加意欲を高める意味では、関心がないということをも強めた方がいいと思います。
3行目の「これまで町民活動に参加したことのない町民に対して、」から「町民活動は必要があります」までいって、併せてすでに活動している団体が、さらに継続発展

できるように仕組みか体制かサポートと言うか分からないのですが、そういうものを整えていくと持っていければと思います。

(委員長) 町民の受け入れ態勢のことですよね。すでに活動している団体は、さらに継続発展できるように町民へのアプローチから団体のアプローチも必要ですし、団体も情報提供、情報公開を進めるというのもあるので、そこを入れますか。

(委員) 補助金の見直しや、サポートセンターの運営の見直しをという意味で「体制を整える」とか、「支援を強化する」などの言葉が必要だと思います。

(委員長) 「支援体制を整える必要がある」ですね。

(委員) はい。

(委員) それともう一つ実態調査で多くの団体が活動していることが確認できましたと書いてありますが、それは前書きの所に書いてあるので、いらないと思います。

(委員長) 答申書は同じ文章が何度も出てくるのですが、前にあるから削除しましょうというのは意外とないので、一応使える物は使いましょうというのがあって、2度3度同じ言葉が出てくることがあります。ただし、必要で無ければ消します。ここは、参加意欲の向上の所で、無いものに参加しようとはいけないので、改めて団体はあるということを確認する意味で出しました。

最初の調査結果に関する所は削除で、「これまで町民活動に関心のなかった町民に対して、協働によるまちづくりに多くの町民が参加することにより、自分たちの暮らしが豊かになるという理解を促し、積極的に町民活動に参加できる機会の提供をはかっていく必要があります。また、すでに活動している団体は、さらに継続発展できるように、支援体制の整備も必要です。」でどうでしょうか。

(委員) 大丈夫です。

(委員長) ②職員の認識向上についてですが、「協働によるまちづくりに寄与し、」となっているが、職員は仕事でおこなっているので寄与はおかしいです。

(委員) 町民は寄与ですが、職員は違いますね。

(委員長) 枠の中にある文章ですが、委員からの修正文章で最後の方が弱いので強めに变えて、こちらにしますか。

(委員) 文章の中で「町民活動はその核となります」と言ってしまっているのか。

(委員長) 言ったぐらいが丁度いいです。

(委員) 最初の「今後の二宮の」はいらないです。「二宮のまちづくりをすすめる上で町民参加は不可欠であり、多様で活発な町民活動はその核となります。」でいいです。

「職員の町民活動への」は「職員は町民活動への」でどうでしょうか。

(委員) 「関係を築き連携を深める」はくどいです。

(委員) 「良好な関係を築き連携を深める」はいらないですね。

(委員長) 「良好な関係」という言葉は微妙ですね。良好を抜いて「関係を築き連携を深める」の方がいいのではないのでしょうか。

- (委員) 良好が入っていると、職員と町民が敵対しているように読めてしまいます。
- (委員) 「活動団体と連携を深めることで」でどうでしょうか。
- (委員長) そうですね。
- (委員) シンプルでいいですね。
- (委員) 連携を深めた方がいいです。
- (委員長) 「さらに」はどこに入れますか。連携の前、深めの前でしょうか。
- (委員) 「さらに連携を深めることで、」その後を縮めていただきたい。
- (委員) 「協働によるまちづくり」の後ろに「の推進していく必要がある。」を付けた方がいいです。
- (委員長) 一度直したので読んでみましょう。
- 「町民活動の推進をはかり、活動団体と」ここは、かぶっていきますね。
- (委員) この「協働によるまちづくり」は意味があるのですか。
- (委員) 推進、推進になってしまうので、築き上げるとか。
- (委員) ここは、難しいです。
- (委員長) 「職員は」どうしたらいいのでしょうか。
- (委員) 連携をして。
- (委員長) 職員は庁内の連携と、町民活動団体との関係性、両方とも連携だと分かりにくいので、中は関係、外は関係、協力でどうでしょうか。
- (委員) 「活動団体と良好な関係を築くことにより」で「良好な関係」は生かした方がいいですね。「活動団体と良好な関係を築き、協働によるまちづくりの推進が必要です。」でどうでしょうか。
- (委員長) 協働のまちづくりへ進むとか、つなぐとか。
- (委員) まちづくりへの推進。
- (委員長) 推進は、町民活動推進とかぶります。
- (委員) 上の推進を何とかして、協働のまちづくりの推進は生かしたいです。
- (委員長) 各部署が連携することで、町民活動への理解、認識ではどうでしょうか。助けるというか一緒にやるという意味です。町民活動が何をしたいのかをしっかりと認知、認めることになります。
- (委員) 支援では。
- (委員長) そうですね。支援にしましょう。
- (委員長) 「職員は町民活動への認識を高め、各部署が連携することで町民活動への支援をはかり、活動団体と良好な関係を築き協働によるまちづくりへの推進する必要がある。」でどうでしょうか。
- (委員) 「支援」だと協働のまちづくりではないと思う。
- (委員長) 連携することで支援になっているので、連携と支援は別ですよ。
- (委員) 支援だと上位者になってしまう。

- (委員) 「職員は、町民活動への認識を高め、各部署が連携」この連携が問題です。
- (委員) 各部署が担当に任せるのではなくて、各部署を貫くとか
- (委員長) 言葉が変わりますが「各部署が連携しながら活動団体への良好な関係を築く、」一つの課が付き合うのではなく、横断的に各部署全体が携わる。を文章にしてみれば、いいのではないのでしょうか。
- (委員) それがいいかもしれません。
- (委員) 「職員は、町民活動への認識を高め、各部署が連携し、活動団体と良好な関係を築き、協働によるまちづくりの推進をする必要があります。」でどうでしょうか。
- (委員長) いいですね。
- (委員) ここが一番の要になります。
- (委員) 文章がすっきりしました。
- (委員長) 最後は、「必要があります。」ではなく「必要です。」がいいです。
- ③町民活動等に関する推進計画について、書いてあることは、わりとシンプルです。決まっていないからできていない、だから作りませんか、ということです。
- (委員) 「管理する計画がなく、進捗状況を点検する時期等も決まっていない」は推進計画がないから点検評価できなくて、進捗状況も把握できない、ということです。
- (委員長) 私達に諮問が来てもデータが何もなくて、町民活動団体へのアンケート調査をお願いしました。
- (委員) 「状況に応じて随時点検をしている状態です。」も重なってきます。状況を加味するというのか。
- (委員) 推進管理計画があれば点検する時期などが出てくるわけですから「進捗状況を点検する時期等も決まっていないため」は余計です。
- (委員) 計画があれば、時期とかも決まっています。
- (委員) 「状況に応じて随時点検している状態です。」もいらないです。何もやっていないということですね。
- (委員) 「計画がなく、進捗状況が確認することができない状態です。」と一言で言った方がいいです。
- (委員長) それがいいです。
- (委員) 2行で終わりますね。
- (委員長) 諮問2「町民活動推進補助金の補助のあり方について」(1) 基本的な考え方についてです。
- (委員) 何で「地域」という言葉が出てくるのでしょうか。
- (委員長) 「団体数の増加や、より活発な活動」にかかっていると思います。
- (委員) 「地域」はいらないです。
- (委員長) 先ほど委員が書いた、前の文章の核となりますにつながるように、不可欠な存在ですと言い切ってもいいかもしれません。で、切って団体数の増加や、より活発な活動を

進めるためには、でどうでしょうか。

(委員) いいとは思いますが、「地域を支える様々な場面で必要不可欠な存在です。」で一度切って、「団体数の増加や、より活発な活動のために団体への財政的な支援も有効と考えます。」でどうでしょうか。

(委員長) 「有効と」は「有効です。」で切って「考えます。」は最後にもっていきましょう。「見直しは必要と考えます。」でどうでしょうか。途中の「ただし、」はいらないですね。

(委員) 「より多くの団体が活用するために補助金の手続等の見直しが必要です」でどうでしょうか。

(委員長) 「団体数の増加や、より活発な活動を進めるためには、団体への財政的な支援が有効です。より多くの団体が活用できるよう補助金の手続等の見直しは必要と考えます。」でどうでしょうか。「次の通り改善案を取りまとめました。」はどうでしょうか。

次に見直し内容と書いてあるのでいらないでしょうか。

(委員) いらないです。

(委員長) (2) 見直し内容について①補助金の仕組みについて

「町民活動への補助金は、」は「への」はいらないです。補助金の正式名称を書いた方がいいです。事業という言葉はずっと使っていたのですが、「事業」は「事業・活動」にしますか。

(事務局) 要綱では事業という言葉が使われていますが、ここで要綱改正する時に事業から活動へ言葉を変えます。

(委員長) 「事業」は「実施する事業」にして、「必要と考えます。」は「必要です。」にして、そうすると前の「おこなっていくことが」を「おこなっていくためには」に変えた方がいいですね。「そのために、活動報告会は通り一遍の報告をせず、「活動をサポートするための報告会」と位置づけるための方法を模索しました。」についてですが、活動報告会のことは、この一行しか書いてなく、これは実施方法なので、書いてあると少し邪魔かと思います。それと、次の補助の目的と内容の所で、補助の目的と内容しか書いていなくて、申請の方法を書いていませんでした、3つ目に申請方法というのも書いた方がいいのかなと思いました。

(委員) 申請方法は、補助要綱に書いてあるから必要ないのではないのでしょうか。

(委員長) それでしたら、目的と内容だけにして、スタート支援とステップアップ支援の所が文章で書いてありましたので、分かりやすくするために分けてみました。このままの文章を分けたので、スタート支援には、「目的とする」とは入れなかったのですが、ステップアップ支援の方は、目的の所で「目的とする。」という言葉を入れましたので、スタート支援の目的の所に、「目的とする。」を入れ、「町民の町民活動への新規参入を促すことを目的とする。」でどうでしょうか。次の文章を内容の方に入れてもらいたい理由は、内容が目的ではないからです。「補助団体数が増えるように、申請をしやすくする。」は申請方法に関わるので、先ほど話した申請方法を書かないのであれば、内容の

部分にあたると思います。補助金額が書いてありましたが、これは逆に書きたくありません。

(委員) これになる可能性が無いからですか。

(委員長) 補助金額は要綱に書いてあるので、答申に書いてしまうと、補助金額がその額で確定し易いので、「上限とする」という言葉は書きたくないです。

(委員) 変動する可能性を残したいという事ですね。

(委員長) 変動させたいです。それで、総額の予算は、100万を最低としたので、100万を想定すると5万とか10万とか出てきます、これが200万になれば、5万が上限でもいいのですが、もしかしたらもう少し違う金額が出てくるかもしれません。

(委員) スタート支援とステップアップ支援の金額を示さないまでも、何か書かないといけないのではないのでしょうか。

(委員長) 「申請は通年行い、申請時の事務負担を軽減する。」と書いてあるので、これでいいかと思っているのですが、これだと少し言葉が硬いでしょうか。

(委員) スタート支援は広く薄く、ステップアップ支援は狭く高く、という意味合いで考えていたので、方向性を示した言葉があればいいかと思います。

(委員長) 「新規参入を促すことを目的とする」と、「事務負担を軽減する」で触れていますが、分かりにくいでしょうか。

(委員) 私達は、分かっているから理解できますが、分からない人から見れば難しいかもしれません。

(委員長) スタート支援は、町民の町民活動への新規参入を促すことを目的とする。内容は、申請は通年行い、申請時の事務負担を軽減する。

(委員) 軽減し、申請しやすくする。は回りくどいですかね。

(委員) 目的と内容で、分ける意味はありますか。

(委員長) 読み手に、何が目的で、目的に対して私達が何を提案しているのかを分かりやすくしてみました。

(委員) そういうことですか。

(委員長) 文章ですと曖昧になってしまうので、目的は目的として議論して、それに対して方法として内容はこう変えましたと分かるようにしました。

(委員) 内容で「申請は通年行い、申請時の事務負担を軽減する。」という所で、申請を受け取る側の事務負担軽減なのか、申請者側の事務負担を軽減するのか分かりにくい。

(委員) 「申請時」ではなく「申請者」でどうでしょうか。

(委員長) そうですね。申請時と書いたのは、申請者の目線で言葉を選んで書きました。

(委員) 申請を通年行うことと、申請者の事務負担を軽減することは一緒にいいのでしょうか。

(委員長) 別です。だから文章を点で区切っているのです、2つに分けて2行にするのもいいです。

(委員) ステップアップ支援では、組織基盤の強化と入れているのですが、スタート支援は事業の事が書いていませんが、補助は事業ごとですよ。

(委員長) はい。

「活動団体の実施する活動に活用する補助金とする。」でどうでしょうか。下のステップアップ支援に「活動団体の組織基盤の強化に活用する補助金」に対して文章をそろえました。

(委員) 「活動に活用する」は。

(委員長) 実施する活動みたいな感じにしました。

(委員) いいと思います。

(委員) 初期活動はどうでしょうか。

(委員長) 先ほど、初期活動でなくてもいいと言っていました。

(委員) 想定しているのは、これから活動を始める団体だけではなく、今まで活動していたが、新しく実施する活動も対象としたいので、初期活動といってしまうと、前から活動している団体が、補助金をもらえなくなってしまう恐れがあるので、あえて初期活動は入れませんでした。

補助金をもらっていない団体であれば、前から活動している団体でも活用してもらいたい。

(委員長) そうなりますと、目的の所の新規参入は、町民活動への新規参入ではなく、補助金への新規参入になるのでしょうか。

(委員) あまり細かく考えるのはどうでしょうか。本当は新規参入する団体にやってもらいたいのですが、そこだけがメインではないので、色々な事を総括して入っています。

(委員長) 大義名分としては、町民参加を促す。初めてはここでいいよと運用でやるとして、ここには書かない方がいいです。

時間がないので、ここの考えがまとまりましたらお願いします。

諮問の3「町民活動サポートセンターの運営及び支援のあり方について」(1) 基本的な考え方について

(委員) 文章が長いので、4行目の「機関は必要であり、」を「機関は必要です。」で切りましょう。

(委員) プラットホームですが、言葉としては出てきましたが、分かりにくいので、サポートセンターは必要だと、端的に言ってしまっているのではないですか。

(委員) プラットホームは分かりにくいです。

(委員長) サポートセンターの議論をしているときに、止まり木のようなものがないといけなとの議論の中で、プラットホーム的な言葉が出てきました。

(委員) 今までのサポートセンターが、そのまま移るのというイメージではないというのは議論してきたので、それがどう伝わるのか。サポートセンターと書くと、また同じイメージがついてしまうのではないかというのが気になりました。

(委員長) その事があったので、言葉を変えてみたのです。サポートセンターと書いておかないと訳が分からなくなるということですね。

(委員) 前の文章にも書いてあって、それは切ったので、ここもどうでしょうか。

(委員長) ここも切りましょう。サポートセンターに変えましょう。

(委員) 機能を充実させたサポートセンター、今までと違うサポートセンターという意味合いのサポートセンターということですね。

(委員長) ここで言っているのは、サポートセンターというよりも、機能とかそういうものを、今までにないものを求めているという意味で言葉を変えたいという事でしょうか。

(委員) ここは、拠点という意味でしょうか。

(委員長) そうです。

ここでサポートセンターに変えてしまうとありきになってしまうので、プラットフォームにしておいたらどうでしょうか。

(委員) プラットホーム（拠点）でどうでしょうか。

(委員長) そうですね。

(委員) サポートセンターだと今のままという印象をもってしまうから、いいですね。

(委員長) 「今後も存続すべきと考えます。」はおかしいですね。

(委員) これは消してもいいのではないのでしょうか。

(委員長) そうですね。「プラットフォーム（拠点）があることが望ましい。」で今後の文章は消して、「ただし、」につなげます。

(2) 見直し内容について①運営について、

(委員) 「段階的な見直しが有効と考えます。」は、消してしまってもいいと思います。

(委員長) そうですね。次の「サポートセンタースタッフ」は「スタッフ」にしませんか。

(委員) 「スタッフ」でいいですね。

(委員長) 「多くの町民に来てもらい、」は来場か来館がいいのではないのでしょうか。

(委員) 来場がいいです。

(委員長) それでは、「多くの町民が来場し、」にします。

ここは、もともと短い文章だったのですが、皆さんの意見を書いてみました。簡単にまとめて書いてしまうと、何を言っているのか分からなくなってしまうので、丁寧に一個一個書いてみました。

(委員) 「町民活動団体がどのような活動をしているのか知ってもらう機会を作ることに加え、」が読みにくくなっているので、「町民活動団体の活動内容を」とか、ようするに宣伝しましょうと言っているのですよね。

(委員長) そうです。「町民活動や他地域の活動状況がわかる広報資料や報告書を掲示・配架し」で、もうほとんど終わっています。

(委員) 「町民活動団体の活動状況や、二宮町の施策や動向の分かる資料」でどうでしょうか。

(委員) 少し違いますね。

(委員長) 「二宮町の施策や動向のわかる資料など掲示・配架した町の情報」でどうでしょうか、町民活動状況の情報を出して、町の情報も置いておくと読みに来る人もいます、そう

いうことを書いてみました。

「町民活動や他地域の活動状況がわかる広報資料や報告書を掲示・配架し、情報提供をおこなうとともに」の後に「二宮町の施策や動向のわかる資料を常設した、」をつなげて、長いですね。

(委員) 「情報提供を図る」で一度切って、「また、二宮町の施策や」となった方がいいと思います。

(委員長) いいですね。

②施設の場所、こちらも「ですます調」に変わっています。

文章の後ろに、丸が付いているのと付いていないがあるので、丸なしで統一したいと思います。

③施設や機材等の提供機能（以下、ハード機能）ここは、以前ハード・ソフトと書いてあったのですが、ここだけ英語で書いてあったので、日本語に変えました。ハードを「施設や機材等の提供機能」にソフトを「相談や交流・研修、関連情報等の提供機能」に変えました。先ほどのプラットフォームではないのですが、言葉が一人歩きするのは嫌だなと思ったので、どちらを書くのか悩んだのですが、日本語を前にもってきました。その件についてはどうでしょうか。

(委員) ③施設や機材等の提供器材（以下、ハード機能）以下と機能は取って、ハード面で、ソフトも同じように以下と機能を取ってソフト面がいいと思います。

(委員長) 表題以外にもハードという言葉が出てくると思って以下を付けたのですが。

③施設や機材等の提供器材で、コピー機、印刷機、裁断機、帳合機、ロッカー、レターケース以外に必要な機材はありますか。

(委員) 大丈夫です。

(委員長) ④相談や交流・研修、関連情報等の提供機能と、こうやって細かく書いておくと、委託とかする時に、このまま使えますので楽だと思います。

表題のカッコの中は、ソフト面としたのですが、文章内でのソフト機能は、ソフト面に直した方がいいですか。

(委員) ソフト機能でいいと思います。

(委員長) ⑤利用料等について、コピー機、印刷機等：実費負担（現行のとおり）と書いたのですが、現行がいくらか分からないので、現行のとおりと書いたのですが、皆さん例年通りや現行通りという言葉を使うのですが、書いた方がいいと思いますか、それとも現行通りを抜きますか。

(委員) 抜いた方がいいと思います。実費負担と書いてあるのでいいです。

(委員長) 会議室なのですが、現行のような機密性の低いものは無料、ここはいいのですが、他の施設と同程度の会議室の場合は他施設と同程度の有料は、他の施設とは公共施設のことだと思うのですが、どこの施設が想像されますか。ラディアンや庁舎もそうですが、公共施設と書いた方がいいでしょうか。

(委員) 機密性の低いものとは何ですか。

(委員長) 衝立があつて、机があるだけの場所です。

ロビーなどを使うのであれば、無料ですという話です。

このように部屋があつて、ドアで閉められて、中で何かができる場所は、他の施設でも予約が必要ですので、そこと同じようにお金を取った方がいいということが書いてあります。

(委員) 他の施設と同程度でという意味で表しているのでしょうか。ただ、意味が分かりにくいです。

(委員長) そうだね。

(委員) パーテーションで区切られていても会議室という名称であれば有料ではなかったでしょうか。サポートセンターの会議室は有料でしたか。

(委員) サポートセンターの会議室は無料です。

(委員長) サポートセンターのように、中で話をしていても外で声が聞こえてしまうものは、無料でいいということです。

(委員) 他の貸出施設と同じような会議室は有料ですと。

(委員長) そうです。そこは二宮町でどのように表現しているのか分からなかったもので、ここは、事務局で作ってください。

(委員長) ロッカーですが、調べますとだいたいこのぐらいの金額です。月でいうと200円から高い所で400円ぐらいです。一年にすると2,400円です。最近できた小田原の支援センターでは多くの団体の要望に応えるために、大きさがバラバラで、鍵は番号で開くタイプなので、鍵を貸出する必要が無いです。逗子でも番号で、藤沢は鍵を貸出ているのですが、鍵の管理をカウンターの人がおこなっていて、苦勞しています。紛失や誰かが持ち出してしまったなどもあるので、新しく入れるなら番号の方がいいです。小田原はいいのを入れているので、良かったら見に行ってみてください。

(委員) 利用料の所で、「コピー・印刷機等の消耗品や、団体が占有して利用するロッカー・会議室」で占有という言葉が会議室にもかかっているように読めるので、ある一団体がその会議室をずっと使えると思われませんか。

(委員) 占有する会議室は無いので、「ロッカー・会議室」は「ロッカー、会議室」ですね。

(委員) そうですね。

(委員長) レターケースも占有利用です。これは、色んな意味の効果が違うので、無料と書いてあります。

それでは、現行のとおりを消して、他の貸出施設については、二宮町に根付いている言葉を使っていただいて、分かりにくさを解消してください。

(委員長) 4協働まちづくりに向けた発展的な考察は、これは新しい項目でした。「協働のまちづくり」でどうでしょうか。

(委員) 協働のですね。

(委員)「ボランティアポイント等なども有効であると考えられます。」は「有効であり、」の方がいいと思います。

(委員長)そうですね。ここはつなげた方がいいと思います。

(委員)誤解を受けるといけないので、「町民や企業など民間から補助金を交付する資金をあつめる」ということは、企業や町民が、ある団体に交付すると思われませんか。お金を一括で集めて、集めた中から補助金を出すイメージで言ったのですが。

(委員)ようするにファンドですね。

(委員)お金を運用するわけではないのですが、イメージはファンドです。

(委員)「企業や民間から資金を集める、」

(委員長)「補助金を交付する」を抜いた方がいいと思います。

(委員)そうですね。

(委員)「自立的な活動を目指すために、」は「自立的な活動を目指すためには、」でどうでしょうか。

(委員長)いいですね。

最後に、「おわりに」です。「町民活動団体を活用」の「活用」は、ふさわしくないの
で訂正しましょう。条例を活用するというところで、活動団体がのびのびと生き生きと
がんばれるような言葉を書きたいです。

(委員)活性化ですね。

(委員長)「活性化」いや「活性」ですね。

(委員)生き生きと生きるということですね。

(委員長)資料に委員の名簿が付いていますので、委員へのお礼は書いてありません。委員以外の方へのお礼が書いてあります。

(事務局)二つ目の所で、「改正も辞さないとの行政側からの情報もいただいた」の所ですが、「改正も視野に入れて」に直していただけますか。

(委員長)わかりました。

(委員)一つ目の所の「現在、二宮町には、町民活動推進に向けた」となっていますが、「現在、二宮町では、町民活動推進に向けた」ではないでしょうか。

(委員長)そうですね。

他に気になる所はありますか。

(委員)「はじめに」と「おわりに」が同じ文調で書いてあるので、いいと思います。

(委員長)「おわりに」は事務局から色々な情報をいただいて書きました。

(事務局)答申書の提出についてですが、来週中には町長へ答申書を提出したいのですが、ここで言われた事をまとめて会長の方に見ていただき、最後に会長の方でまとめたものを出すという形でよろしいでしょうか。

(委員長)暫定ですが、書類を作ってもらって、もう一度内容を見てもらいます。町民活動スタート支援目的は、町民の町民活動への新規参入を促すことを目的とします。内容とし

て活動団体の実施する活動に活用する補助金とします。申請は通年行い、申請者の事務負担を軽減する。町民活動ステップアップ支援は、目的はこのまま、内容もこのまま、補助金額は入れません。一応これで作成してもらって、もう一度目通ししていただいて、おかしい所がないか見てもらいます。どこがどうおかしいなど細かく見ないで、代案も作らなくていいので、良いか悪いかだけの返事を事務局に出してください。

(委員) それでしたら、ここだけを直して送ってください。

(委員長) 先にこれだけは送ってください。後は合意を取れているので、丁寧に事務局の方で作った方がいいと思います。

ずっと気になっていたのですが、補助金のお知らせですが、これの確定はいつですか。

(事務局) 申請は4月以降になりますので、3月25日出る予定の4月広報に載せる予定です。

(委員長) そうすると、まだ時間があるので、お知らせに関してもじっくり目通しをしていただいて、これこそ町民の方が見る物となりますので、分かりやすく、誤解の招かないように、皆さんも読んで意見を出してください。

(委員) 申し込みの関係ですが、何時も何月から何月までで慣れているので、4月から随時と入れた方がいいと思います。

(委員長) 12月の審査が最後になると思いますので、今から予定するのはおかしいですが、11月の末までにしておけばいいと思います。

(委員) 補助金の支払いの関係もあると思うので、それでいいですね。

(委員) 具体的に書いてあった方がいいですね。

(委員長) お知らせの見直しですが、2月いっぱいに見ていただき、修正していただければ、告知の時期に間に合うと思いますので、よく読んでください。

(事務局) 答申書の提出についてですが、本来ならば会長から町長へ渡していただきたいのですが、どうしても時間的な制約がありますので、都合がつかない時には、事務局の方で渡したいと思うのですが、よろしいでしょうか。

(委員長) よろしくをお願いします。

(事務局) なるべく会長からお渡しができるように日程等の調整はさせていただきます。

(委員長) 町長へよろしくお伝えください。

4. 閉会

(委員長) それでは、時間となりましたので、閉会します。お疲れ様でした。

議事録署名人

議事録署名人